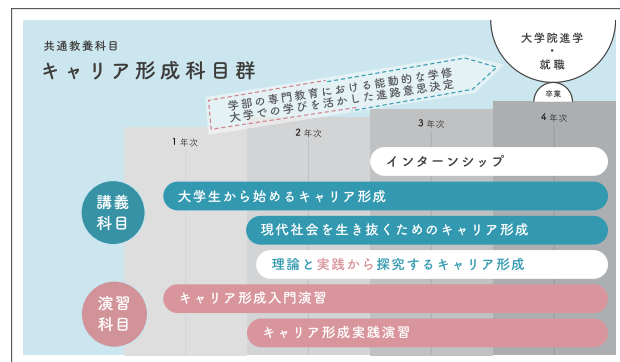


◎全学共通の「キャリア形成科目群」を新設

## 自律的なキャリア形成能力を低年次から育成する



関西大学は、2023年度から全学共通教養科目に「キャリア形成科目群」を新設した。VUCA時代、低年次から自律的なキャリア形成能力を育成するため、より体系化したカリキュラム構成へと一新した。

新しい「キャリア形成科目群」は、①「大学生から始めるキャリア形成」「現代社会を生き抜くためのキャリア形成」、②「キャリア形成入門演習」「キャリア形成実践演習」、③「理論と実践から探究するキャリア形成」の科目で構成され、全学が受講可能。アク



ティブラーニングを取り入れた学部横断型交流の授業設計により、学生一人一人に合わせたリーダーシップの技能や態度を養いつつ、多様な他者と協働しながら自律的に考動できる人材を育成する。

さらに、同年から「産学連携型ジョブシャドウイングプログラム」を始動。学生が社会人の仕事に同行し、その姿を観察する「ジョブシャドウイング(仕事観察)」を映像化し、Webツール「ハタチのトビラ」で配信している。キャリアの意識を育み、多様な業種・職種を理解を深められるよう、今後もコンテンツの充実を図る。

◎2023年度入学式を挙げる。新入生歓迎行事・歓迎の集いも開催

## 桜が咲き誇るキャンパスに、新入生の笑顔あふれる



「新入生歓迎の集い2023」のサプライズゲスト、サンブラザ中野くん(中央)とパッパラー河合さん(右)▼



2023年度関西大学入学式を4月1日、同大学院入学式を3日、千里山キャンパスにて挙行し、6,705人の学部生と855人の大学院生が新たなスタートを切った。

また、2日には、今春から一人暮らしを始める新入生を対象に、

学生同士の交流を促す「関西大学新入生歓迎の集い2023」を開催した。本イベントは、初めて一人暮らしをする在学生の父母から不安の声が寄せられたことを受け、大学と教育後援会・校友会・関大生協などが協力し、2018年度から行っている。当日は、ファシリテーターとして職員も参加し、約800人の新入生同士のスムーズな交流をサポート。応援団の演舞演奏やサプライズゲストとしてサンブラザ中野くんとパッパラー河合さんの登場。最後は全員へ新生活に役立つプレゼントもあり、盛会のうちに終わった。

さらに、3・4日には、オリエンテーション実行委員会運営のもと、各クラブ・サークルがブースを出し、熱心に新入生を勧誘した。悠久の庭と図書館前では、さまざまな団体がパフォーマンスを披露し、活動内容をアピールするとともに歓迎ムードを盛り上げ、キャンパスは活気で満ちあふれた。



◎商学部・鉛野仁子ゼミによる産学連携企画

## “ながら”足裏ケアスリッパ『Uruvi』を開発



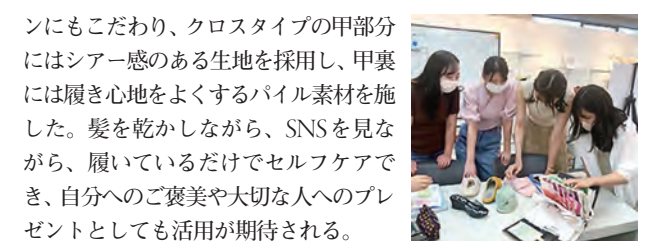
▲足裏ケアスリッパ『Uruvi』

商学部の鉛野仁子ゼミが、株式会社オクムラとの産学連携により、忙しい日々の“ながら”足裏ケアをテーマにしたスリッパ『Uruvi』を開発し、4月12日よりオンラインショップ(株式会社オクムラショッピングサイト)にて販売を開始した。

鉛野ゼミとオクムラは、2019年度から連携し、若年層にその魅力を広く知ってもらうためのプロジェクトに取り組んできた。

2020年度に開発した「冷える足を寝るまで『POKATTO』スリッパ」は、好評につきレギュラー化された。第2弾となる『Uruvi』は、10～30代の美容に興味のある女性をメインターゲットとし、現代のライフスタイルや趣向に合った商品開発を心掛けた。

その狙いは、スリッパの認識を「履物」から「美容グッズ」に変化させること。後回しにしがちな足の保湿に着目し、スリッパの生地には保湿素材「オアシスロード」を使用した。また、デザイ



ンにもこだわり、クロスタイプの甲部分にはシアー感のある生地を採用し、甲裏には履き心地をよくするパイル素材を施した。髪を乾かしながら、SNSを見ながら、履いているだけでセルフケアでき、自分へのご褒美や大切な人へのプレゼントとしても活用が期待される。

◎関西大学・法政大学・明治大学トップ対談シンポジウムを開催

## ポストコロナの高等教育を見直す



関西大学、法政大学、明治大学は、連携シンポジウム「ポストコロナの高等教育を見直す一助へ〜3大学の学長と総長が徹底的に語る!」を3月4日、千里山キャンパスにて開催した。3大学は2017年に大学間連携協定を締結以降、教育・研究活動のほか、産学連携、地域社会への貢献、学生交流など、多彩な連携活動に取り組んできた。



法政大学 廣瀬 克哉 総長 明治大学 大六野 耕作 学長 関西大学 前田 裕 学長

第1部では、法政大学の廣瀬克哉総長が「ポストコロナに向けての《実践知教育》の展開」、明治大学の六六野耕作学長が「自ら未来をデザインし、地図を描く力を涵養する明治大学の取り組み」、本学の前田裕学長が「ポストコロナの『学の実化』と『総合知』」をテーマに講演し、各大学の特長的な取り組みを踏まえながら、目指すべき姿と現状の課題などを示した。

続く第2部では、前田学長がモデレーターを務め、3大学トップによるディスカッションを進行。各自の考えを述べながら、次世代の教育において大学が果たすべき役割や、連携の可能性について議論を深めた。